

CAV[®]

天井埋込型スピーカー 取扱説明書



[製造元] CAV AUDIO CO.,LTD.
www.cav-audio.com

[輸入元] CAVジャパン株式会社
www.cav-japan.co.jp

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-48-5 光陽社ビル8F
TEL:03-5850-6800 FAX:03-5850-6810
MAIL:info@cav-japan.co.jp



Model HT62 (Ver2.0)

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
何卒ご了承ください。

はじめに

CAVの天井埋込型スピーカーHT62をご購入いただき誠に有難うございます。本商品は適切に設置と操作を行っていただくことで、安心して快適なリスニング環境を提供し続けることが可能となります。この取扱説明書の内容にしたがって、正しく設置していただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

特徴

- 高音域においては2個のトゥイーターを配置し広範囲なエリアをバランス良くカバーします。
- 照明装置をも思わせる丸型かつスタイリッシュなデザインは、究極的な“ステルス(場所の隠された)”サウンドを演出します。
- 湿度に対して耐久性のある素材を用いることで、バスルーム、キッチン、サウナをはじめ、野外の軒下でに使用も可能となります。
- グリルやフランジ(縁部分)はペイント可能ですので、本商品の存在感を消すなど、設置するお部屋に見合った塗装が可能です。

トゥイーター・レベルの最適化

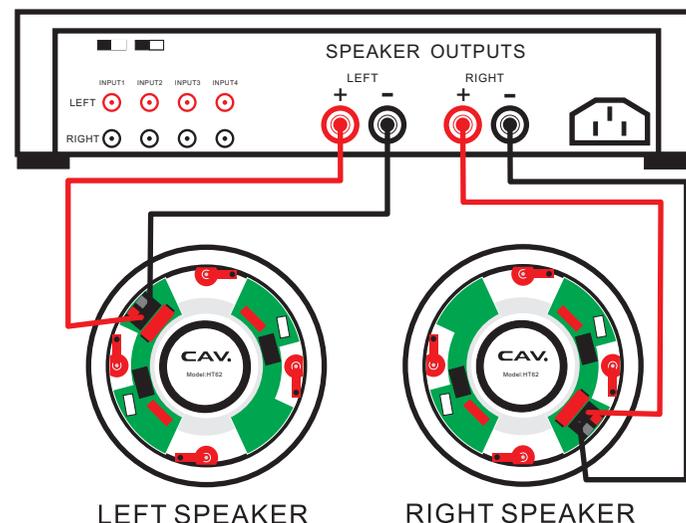
スピーカーの設置場所や理想とは言い難いリスニング環境を、トゥイーター出力の調整を行って最適化することが可能です。0dBポジションで、最も自然なフィードバックを実現するようにデザインされていますが、もしも、高い周波数が強い(高音域で耳がキンキンするなど)場合は、鑑賞者の好みに合うよう、-3dBポジションにトゥイーター・レベルを下げてください。

接続

お手元で設置されるHT62の接続方法は下記のようになります。

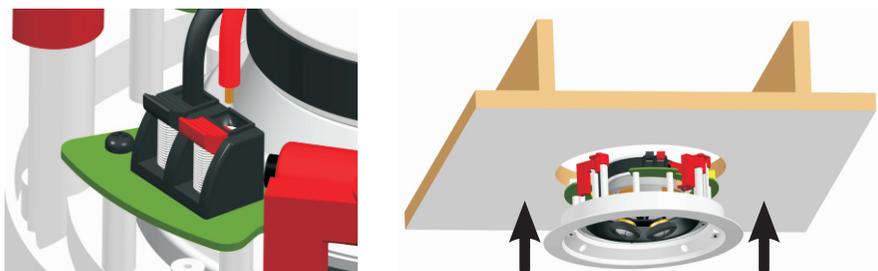
HT62接続例

極性(+)と(-)は正しく接続してください。



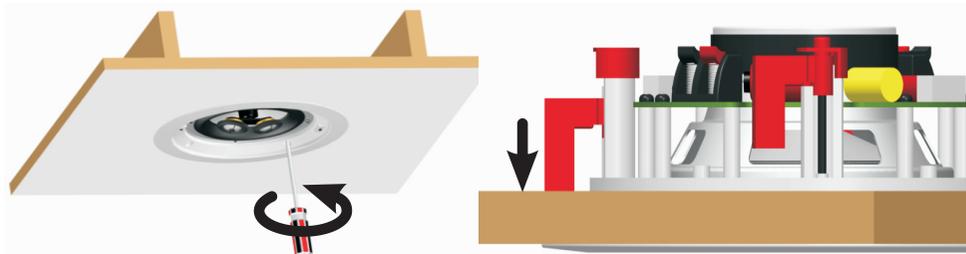
Step4

極性に注意しながら、スピーカーケーブルをスピーカー端子に取り付けます。接続したら、先ほどの天井穴にスピーカーをはめ込みます。その時に、ケーブルを挟まないように注意してください。



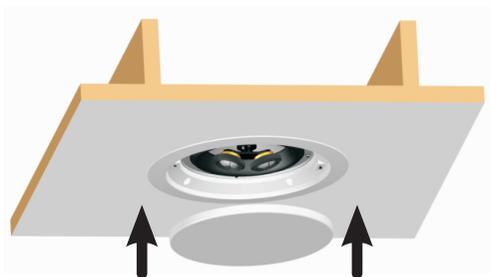
Step5

注意しながら、設置用ネジを用いて4箇所ですっかりと締めます。この作業を疎かにすると、設置面の奥側のつばのところで止金具が回転してしまい、安全な設置に支障がでます。



Step6

スピーカーパネルがしっかりと取り付けられたことを確認します。しっかりと設置ができたことを確認したら、グリルを取り付けます。グリルはぴったりはめ込まれるように作られています。まずグリルの片方をスロットにはめて、グリルの円周に沿って、もう片方のスロットへグリルを押し込んでいきます。



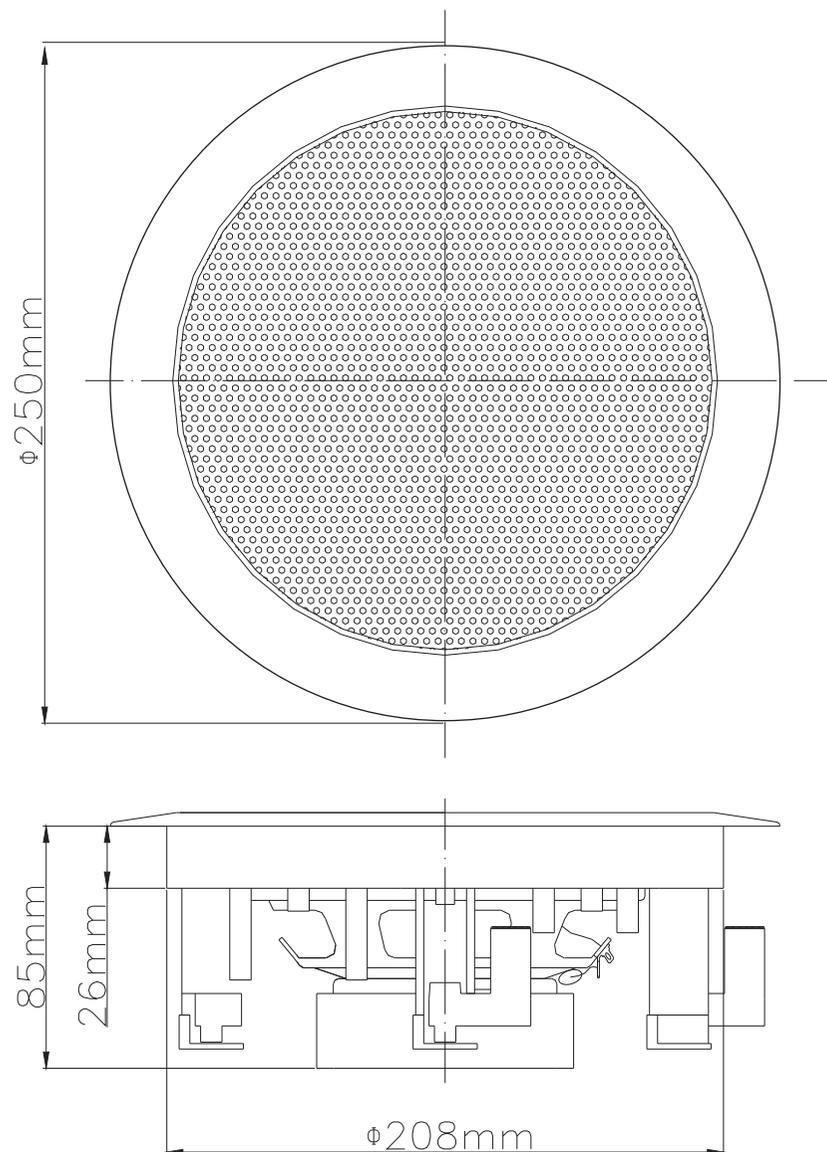
埋込型スピーカーの塗装

本商品は、あらゆるインテリアやエクステリアの塗装に馴染むようにデザインされています。塗装の際には、スプレーかペイント・ローラーを用いると、とてもきれいな仕上がりになるでしょう。CAVの埋込型スピーカー商品には、塗装の際にスピーカーを保護するための塗装シールドが付属されています。塗装の際にご使用ください。

スペック

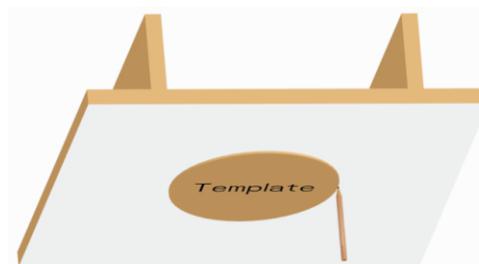
型番:	HT62
周波数帯域:	60Hz ~ 20kHz
インピーダンス:	6Ω
最大入力値:	60W
クロスオーバー周波数:	2.8KHz
感度(2.45V@1W/1m):	88dB
トウィーター:	2(1インチ ソフトドーム)
ウーファー:	1(6.5インチドライバー)
設置厚:	85mm
必要切込直径:	φ208mm
設置時の全直径:	φ250mm
質量(約):	1.56kg

寸法



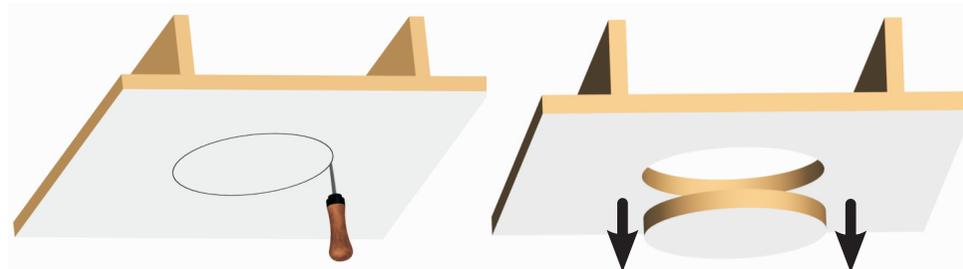
Step1

間柱を見つけるスタッドファインダー(ホームセンターなどで安価に入手可能と思われます)やその他の最適な方法を用いて、2つの小梁から等距離となる場所を見つけて印をつけます。付属のテンプレート板を用いて、天井面に穴を空ける箇所を形取ります。



Step2

糸鋸などの各種適した鋸を用いて、先ほど面取った形に沿って、天井に穴を開けます。



Step3

スピーカーの配線を音源(アンプなど)の場所まで引き伸ばします。配線の方法は、お客様の部屋の構造の特性・特徴によって、いくつかの方法が考えられます。スピーカーの位置に気を配って配線を施すことで、より専門的な設置が可能となります。

